

## 企業様の関わり方

### ■ トライアルパーク整備事業への金銭的なサポート

トライアルパークの整備事業に係る費用に対してご寄附を募集します。受入期間は令和3年度末まで。  
1回あたり10万円以上の寄附が対象。ご寄附いただいた企業様のお名前をトライアルパーク等で紹介します。

整備内容 ▶▶ トライアルエリアの基盤整備、カフェ・休憩施設の建設に係る費用

事業費総額 ▶▶ 190,000,000円 寄附目標額 ▶▶ 50,000,000円

### ■ トライアルの実施主体としての参画

トライアルを実施するプレイヤーとして、ぜひトライアルパークを活用してください！（使い方の詳細は今後整理します。）

## 企業様のメリット

### 地域の方針に沿った効果的な社会貢献活動

地元有志の勉強会を中心に地域が作り上げたプロジェクトです。地域の大きな期待と希望を担う事業に対して社会貢献ができます。

### 静岡市や地域との新たなパートナーシップの構築

静岡市や地域と、これまでとは違う新たな共生・信頼関係を構築することができます。

### 新規事業への展開

トライアルに参加することで、新たな企業との連携や新しいビジネス展開のチャンスがあります。

## 税制上の優遇措置

市外に本社のある企業 ▶▶ 企業負担＝寄附額の1割

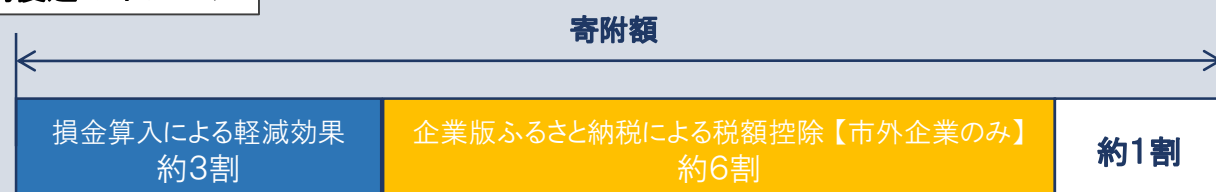
企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用できます。

寄附額の6割を法人税関係税から控除する仕組みで、損金算入による軽減効果(約3割)と合わせて最大で寄附額の約9割が軽減されるので、実質的には企業様の負担は約1割まで圧縮されます。

市内に本社のある企業 ▶▶ 企業負担＝寄附額の7割

企業版ふるさと納税の対象になりませんが、損金算入による軽減効果(約3割)を活用できます。

### 税制優遇のイメージ



静岡のミライを創る  
みんなの実験場

～ 時代を読み、進化を続ける「道の駅」～



ご賛同いただける企業様のご寄附を募集しています



## 申し込み・問い合わせ

静岡市役所 建設局 道路部 道路計画課 企画係

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

TEL : 054-221-1239 E-mail : dourokeikaku@city.shizuoka.lg.jp

企業版ふるさと納税についてはこちら

〔内閣府 企業版ふるさと納税ポータルサイトHP〕



# 静岡のミライを創る“みんなの実験場” 蒲原トライアルパークプロジェクトの概要



(写真) 整備予定地は富士山の眺望が抜群な富士川右岸に位置する。静岡市だけでなく中部連携中枢都市圏の5市2町の玄関口でもある。

## みんなの“〇〇したい”を形にする場

静岡市の東の玄関口「蒲原」に1畧の広大な屋外空間。周辺は、金属や食品加工の工場、東海道の古い町並み、住宅地が広がり、それらを海・川・山の豊かな自然が取り囲んでいます。

静岡市では、この場所を、これからの静岡のミライを支えていく“ひと・もの・ごと”を育てる「みんなの実験場」として使いたいと考えています。

急速な技術革新や新型コロナウイルス感染症拡大で先が見通せない現在、今日の“正解”が明日の“正解”という保証はありません。実は、「道の駅」として検討をスタートしたこの場所、無理にハコを作るのではなく、みんなの「〇〇したい」を形にしながら、社会の変化に対して柔軟に、常に正解を探りつつ変化していく、そんな少し変わった道の駅もよいのでは。



## 東海道15番目の宿場町「蒲原」

静岡市の東端に位置する蒲原は、かつて東海道15番目の宿場町として栄えた町並みや文化、駿河湾の恵みを活かした水産加工業を中心とした産業が今も色濃く残ります。

人口1万人のこの町は、人口減少・少子高齢化を背景に、この地で培った固有の産業や文化を失う危機に直面しています。

「宿場町」として蒲原地区を再興させるため、トライアルパークの賑わいを宿場に繋げる仕組みを考えています。

自転車をつなぐ

古民家を活かす

- 魅力が散在し、道の狭い蒲原はクルマでの観光に不向き
- トライアルパークを旧街道のんびり自転車旅の出発地に
- 人口減少や代替わりで古民家が空き家・建て替えの危機
- 宿やカフェなど、古民家を新たな観光コンテンツに

## 実験場の主役は地元の企業

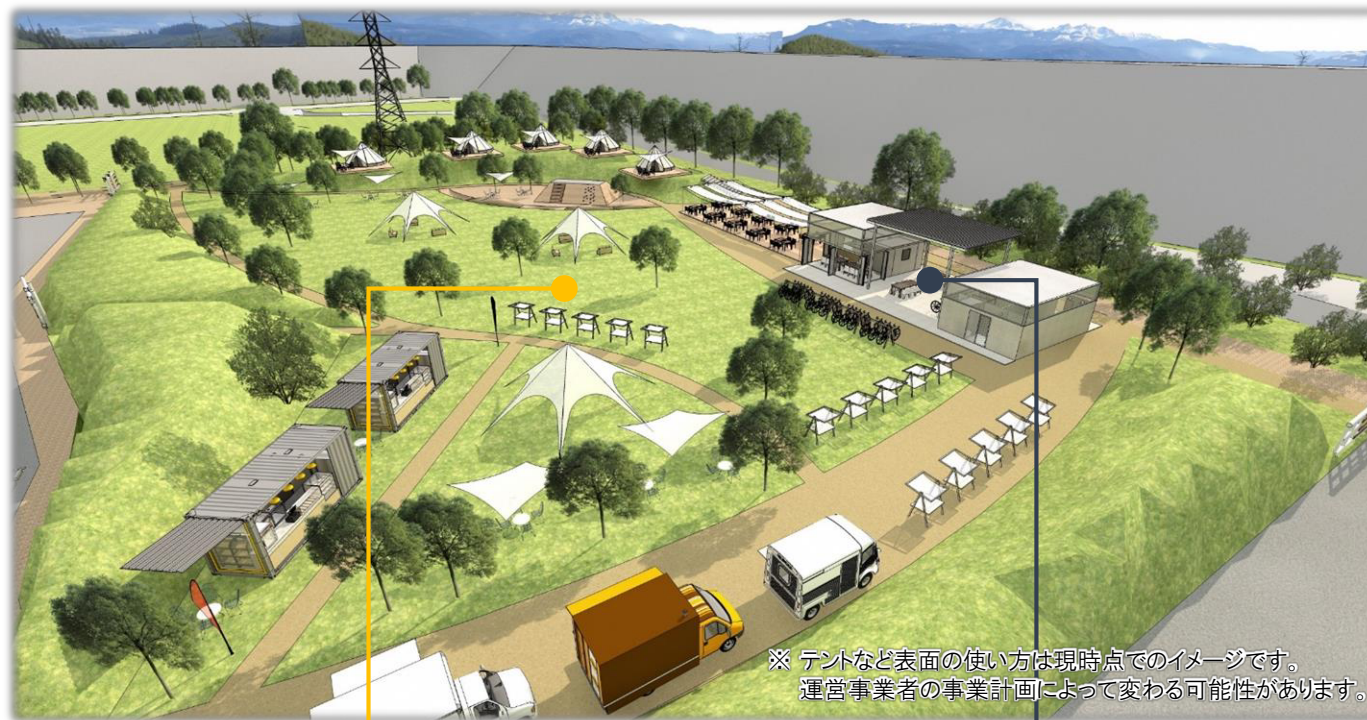
「(仮称)蒲原トライアルパーク」と名付けた実験場、イメージは右のパースをご覧ください。

「トライアルエリア」と示した屋外の広場空間が実験場です。

屋台やコンテナなどの仮設物を使い、比較的小さな投資からトライアルを始め、顧客の反応を見ながら、ビジネス展開を探っていく。

つまり、トライアルの主役は、静岡を中心に活躍される企業のみなさま。

「企業×企業、企業×地域、企業×行政」という様々な化学反応を起こして、新たな価値を生み出すこの実験場を静岡市と一緒に作りませんか？



※ テントなど表面の使い方は現時点でのイメージです。運営事業者の事業計画によって変わる可能性があります。

### トライアルエリア

- みなさんがトライアルを実施する屋外空間
- 周囲の稜線と一体化した丘や樹木で、ゆるやかに空間を区切り、落ち着いた空間をつくります
- フードトラックやコンテナ、屋台などの仮設的なモノを使って空間を構成します。

### カフェ・休憩施設

- 洗面やトイレ、カフェ(キッチンスペース)などできるだけ小さな建築物にまとめます
- 屋根付きのちょっとした広場空間は、自転車のメンテナンススペースなどに利用
- 旅の出発地点としてのインフォメーション機能も

## プロジェクトの推進体制

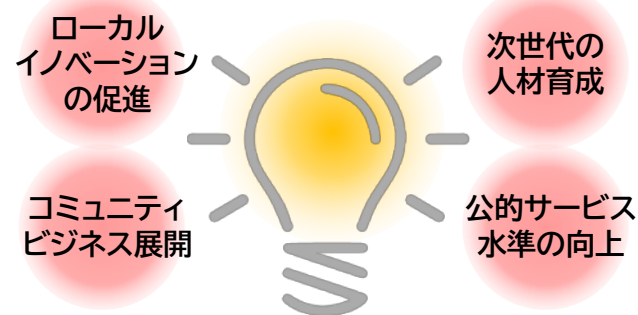
公共R不動産 × 静岡市  
— REALPUBLICSTATE —

公共空間・公共資産の企業とのマッチング、再活用のアイデア発想などで、全国に魅力的かつユニークな事例をたくさん生み出している「公共R不動産」とタッグを組んで、プロジェクトを進めています。

蒲原を心から愛するシビックプライドの高い地元の方々も加わり、ミライへの希望と野望を抱いて、プロジェクトを成功に導きます！

## 事業スケジュール

- 令和2年度 施設設計
- 令和3年度 施設整備、運営事業者の選定
- 令和4年度 **蒲原トライアルパーク オープン!**
- ▼ トライアルの実施・効果測定
- 令和?年度 次のステップの模索(道の駅化)



(図1) 実験場では、思いもよらない連携が生まれるかも…